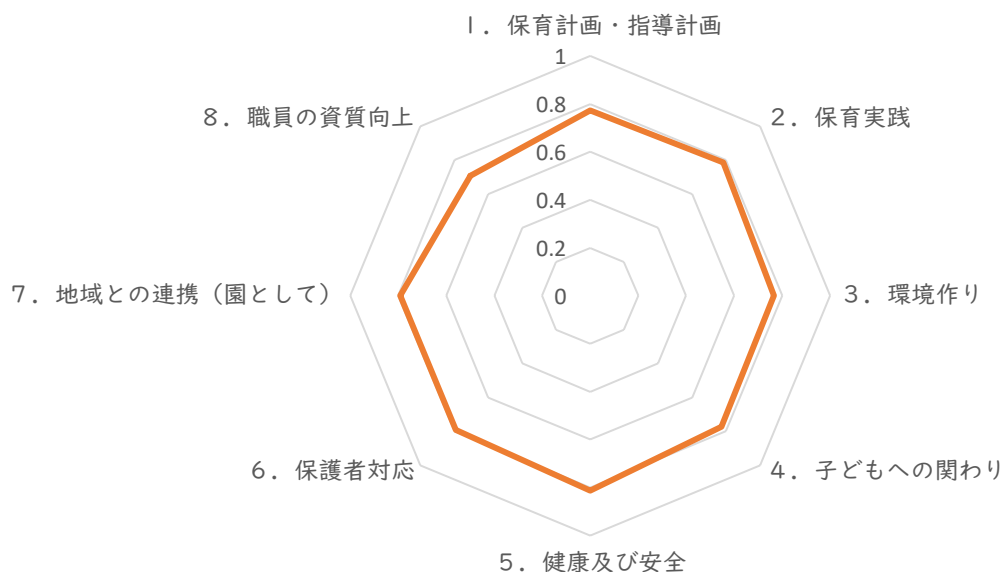


保育所保育指針では、保育の質の向上を図るため、「保育の計画の展開や保育士の自己評価を踏まえ、保育の内容等について、自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない。」ことが明記されています。当園では組織として自己評価に取り組みましたので公表します。

下津保育園の自己評価



【総評】

稲沢市が目指す「子どもを尊重する保育」ガイドラインを守り、子どもの心や身体を大切にする丁寧な保育を実施しました。インクルーシブ保育では、クラス子ども達が過ごしやすく育ち合える環境づくりや支援方法を学び合い、職員自身の学びにつながりました。今年度の取り組みとして、子どもの興味・関心が盛りあがった時に「そのことに詳しい保護者」に協力を仰ぎ、知りたいことを知るチャンスを作り話を聞きました。感動体験を増やしていくことで、子どもの学びや興味が深まりました。

【今後の課題】

「すべての職員ですべての子ども達の育ちを見守っていく」という思いで保育をし、引き続き、保護者の方と信頼関係を築いていきます。ICTの導入により、保護者への配信や登降園管理が円滑に進んだので、今後も導入できる機能を精査し活用していきます。地域交流では、社会を知る機会を作り、今後も子どもの健やかな成長につながる様々な地域資源を活かして保育の充実を図り、豊かな心を育めるようにしていきます。各種研修や他園への見学など積極的に参加し、学びを深めることで保育の質の向上に努めるとともに自身の保育を振り返り、見直すことでより良い保育を提供できるよう努めていきます。



夏まつり（異年齢）



クリスマス会



保護者来園事業（美容師）